

シルバーウィークはカレンダー通りの「3連休」が半数  
過ごし方は「自宅でゆっくり過ごす」が大多数  
旅行も「国内」の傾向

- シルバーウィーク（ハッピーマンデー）に関する調査 -

URL: <http://research.rakuten.co.jp/report/20130909/>

楽天リサーチ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：森 学）は、シルバーウィーク（ハッピーマンデー）に関するインターネット調査を実施しました。今回の調査は、8月27日から28日の2日間、楽天リサーチに登録しているモニター（約230万人）の中から、有職者である20代から60代の男女計500人を対象に行いました。

---

■□ 調査結果 □■

---

■今年のシルバーウィークの休暇取得は、カレンダー通りの「3連休」が半数以上

まず初めに、2013年9月14日～2013年9月23日のシルバーウィーク（ハッピーマンデー）の時期に最大で何連休取得可能か聞いたところ（連休が複数回になる場合は、日数が最も長い連休について聞いた）、1番多かったのは、カレンダー通りの「3連休（50.6%）」となった。

カレンダー通り以上の休日を取得しているケース（4連休以上）は合計9.2%と、全体の1割にも満たないことから、シルバーウィーク（ハッピーマンデー）では、なかなか休みを繋げた大型連休とすることは難しく、暦どおりの傾向が強い傾向にあるようだ。

◇今年のシルバーウィーク（ハッピーマンデー）は最大で何連休になるか

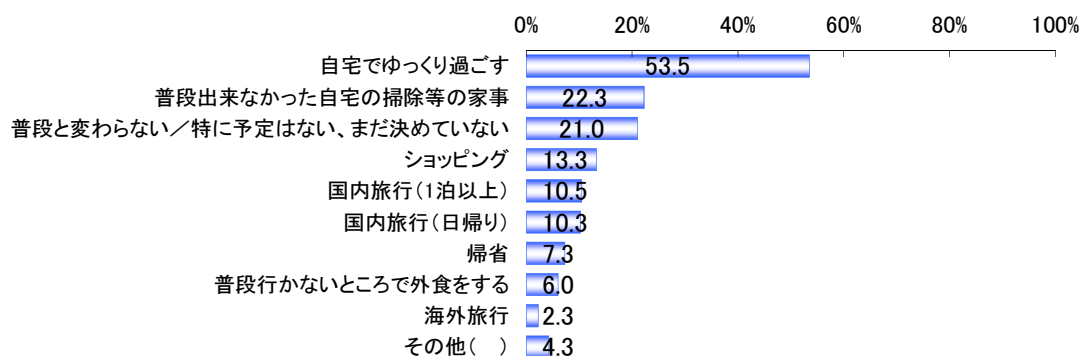
（n = 500） 単位：%

		n	1 日 の み	2 連 休	3 連 休	4 連 休	5 連 休	6 連 休	7 連 休	8 連 休	9 連 休	1 0 連 休	1 1 連 休 以 上	休 み は な い
		%												
全体		500 100.0	33 6.6	68 13.6	253 50.6	22 4.4	9 1.8	4 0.8	1 0.2	2 0.4	1 0.2	2 0.4	5 1.0	100 20.0
性別	男性	250 100.0	14 5.6	34 13.6	136 54.4	12 4.8	5 2.0	1 0.4	0 0.0	0 0.0	1 0.4	2 0.8	2 0.8	43 17.2
	女性	250 100.0	19 7.6	34 13.6	117 46.8	10 4.0	4 1.6	3 1.2	1 0.4	2 0.8	0 0.0	0 0.0	3 1.2	57 22.8
年代	20代	100 100.0	6 6.0	18 18.0	46 46.0	6 6.0	3 3.0	2 2.0	0 0.0	1 1.0	0 0.0	1 1.0	1 1.0	16 16.0
	30代	100 100.0	5 5.0	10 10.0	52 52.0	6 6.0	2 2.0	0 0.0	0 0.0	1 1.0	0 0.0	0 0.0	1 1.0	23 23.0
	40代	100 100.0	6 6.0	13 13.0	57 57.0	3 3.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.0	1 1.0	19 19.0
	50代	100 100.0	9 9.0	12 12.0	60 60.0	2 2.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	17 17.0
	60代	100 100.0	7 7.0	15 15.0	38 38.0	5 5.0	4 4.0	2 2.0	1 1.0	0 0.0	1 1.0	0 0.0	2 2.0	25 25.0

■連休は「自宅でゆっくり過ごす」予定が大多数。「旅行」も国内の傾向。

次に、休暇が一日でも取れる400名に、取得予定の連休ではどのように過ごすのか聞いたところ、「自宅でゆっくり過ごす（53.5%）」、「普段出来なかった自宅の掃除等の家事（22.3%）」と、自宅で過ごす予定が合わせて75.8%と大多数を占めた。外出系では「ショッピング（13.3%）」、「国内旅行（1泊以上）（10.5%）」、「国内旅行（日帰り）（10.3%）」という結果となっており、旅行に出かけたとしても国内の傾向が多いことが見受けられた。

◇連休で過ごす予定について（n = 400）複数選択 単位：%



過ごし方にかかる予算を、それぞれ最も多い割合を占める価格帯をみていくと、「自宅でゆっくり過ごす（0円以上～5,000円未満：76.6%）」、「普段出来なかった自宅の掃除等の家事（0円以上～5,000円未満：92.1%）」と、自宅で過ごす派は低予算が大きな割合を占める。外出を主として過ごす派は「ショッピング（1万円以上～3万円未満：43.4%）」、「国内旅行（1泊以上）（3万円以上～5万円未満：35.7%）」、「国内旅行（日帰り）（1万円以上～3万円未満：48.8%）」、「帰省（0円以上～5,000円未満：34.5%）」、「普段行かないところで外食をする（5,000円以上～1万円未満：45.8%）」、「海外旅行（20万円以上～50万円未満：33.3%）」という結果となった。

3%)」といった価格帯がそれぞれ最も多かった。予算の最高額は「海外旅行（50万円以上～100万円未満：22.2%）」となった。

◇連休で過ごす予定について（n=400） 単位：%

	n	円0 未 満 5 0 0 0	万5 円 未 満 0 0 0 0	満1 万 円 以 上 3 万 円 未 満	満3 万 円 以 上 5 万 円 未 満	未5 満 万 円 以 上 1 0 万 円	円1 0 万 円 以 上 2 0 万	円2 0 万 円 以 上 5 0 万	万5 円 未 満 0 0 0 0	1 0 0 万 円 以 上
1. 自宅でゆっくり過ごす	214 100.0	164 76.6	34 15.9	13 6.1	3 1.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
2. 普段出来なかった自宅の掃除等の家事	89 100.0	82 92.1	6 6.7	1 1.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
3. 帰省	29 100.0	10 34.5	6 20.7	7 24.1	2 6.9	3 10.3	1 3.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0
4. 国内旅行(日帰り)	41 100.0	0 0.0	14 34.1	20 48.8	5 12.2	0 0.0	1 2.4	1 2.4	0 0.0	0 0.0
5. 国内旅行(1泊以上)	42 100.0	1 2.4	2 4.8	12 28.6	15 35.7	9 21.4	1 2.4	2 4.8	0 0.0	0 0.0
6. 海外旅行	9 100.0	0 0.0	0 0.0	1 11.1	2 22.2	0 0.0	1 11.1	3 33.3	2 22.2	0 0.0
7. 普段行かないところで外食をする	24 100.0	7 29.2	11 45.8	6 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
8. ショッピング	53 100.0	10 18.9	17 32.1	23 43.4	2 3.8	0 0.0	1 1.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0
9. その他	17 100.0	6 35.3	4 23.5	4 23.5	2 11.8	1 5.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

予定に対する予算のかけ方については、例年と比べても大きな変動はなく、どの項目でも「変わらない」という回答が多かった。

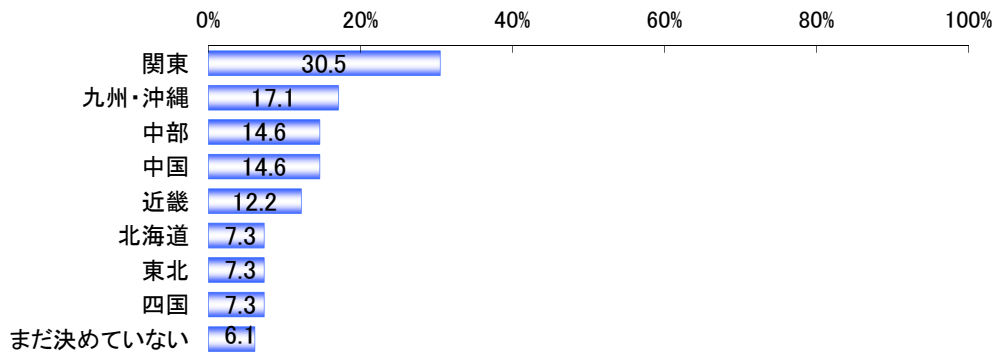
◇例年と比較した予算のかけ方の変化について（n=400） 単位：%

	n	増 え た	や や 増 え た	変 わ ら な い	や や 減 っ た	減 っ た	し 例 年 は こ の 過 ご し 方 を
1. 自宅でゆっくり過ごす	214 100.0	14 6.5	16 7.5	168 78.5	6 2.8	6 2.8	4 1.9
2. 普段出来なかった自宅の掃除等の家事	89 100.0	0 0.0	4 4.5	72 80.9	4 4.5	5 5.6	4 4.5
3. 帰省	29 100.0	0 0.0	4 13.8	24 82.8	0 0.0	0 0.0	1 3.4
4. 国内旅行(日帰り)	41 100.0	4 9.8	7 17.1	23 56.1	2 4.9	3 7.3	2 4.9
5. 国内旅行(1泊以上)	42 100.0	5 11.9	12 28.6	20 47.6	2 4.8	2 4.8	1 2.4
6. 海外旅行	9 100.0	0 0.0	1 11.1	5 55.6	0 0.0	0 0.0	3 33.3
7. 普段行かないところで外食をする	24 100.0	3 12.5	6 25.0	11 45.8	2 8.3	2 8.3	0 0.0
8. ショッピング	53 100.0	1 1.9	8 15.1	35 66.0	5 9.4	4 7.5	0 0.0
9. その他	17 100.0	4 23.5	2 11.8	8 47.1	0 0.0	1 5.9	2 11.8

■旅行先は「関東」が3割強。目的は「グルメ」「名所・旧跡巡り」「温泉」の傾向。

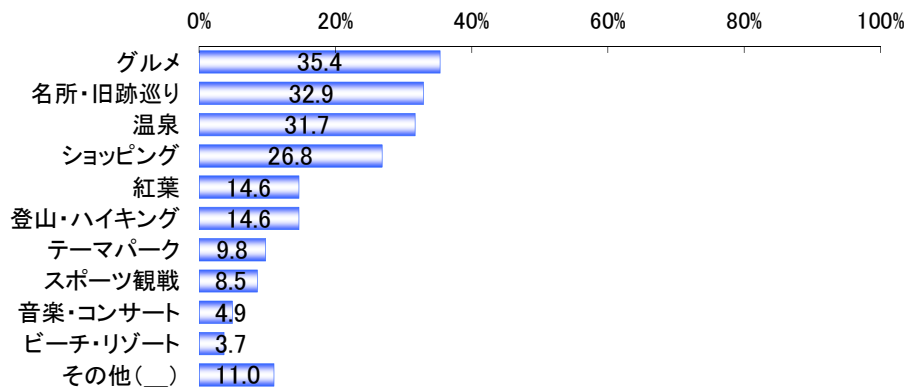
旅行先は海外（9.8%）に比べ、国内（90.2%）がかなり多い結果となった（旅行に行くとは回答した人のうちの割合）。カレンダー以外の日の休暇が取れていないことが要因であると推測される。国内で旅行する人のなかでの行き先は、「関東（30.5%）」、「九州・沖縄（17.1%）」、「中部（14.6%）」、「中国（14.6%）」という結果となった。

◇旅行行き先について（n=82）複数選択 単位：%



続いて旅行の目的を伺ったところ、「グルメ（35.4%）」が僅差でトップとなった。次いで、「名所・旧跡巡り（32.9%）」、「温泉（31.7%）」、「ショッピング（26.8%）」といった目的が目立っており、季節柄、「紅葉（14.6%）」という回答も多くみられた。

◇旅行の目的について（n=82）複数選択 単位：%



■理想の休日を過ごすために最も必要なものは「お金」・「時間」で二極化。

理想の休日を過ごすために最も必要なものを聞いたところ、「お金（37.8%）」と「時間（36.2%）」の二極化となった。年代で見ると、総じて20代男女は「恋人」の割合が他の年代に比べ、高くなっている。また、60代男女においては、「特になし」の割合が高い。

また、理想の休日の過ごし方を自由に記述してもらったところ、日頃の疲れを取りたいといった趣旨なのか、「ゆっくりしたい」「リラックスしたい」「好きなだけ寝る」といった、しっかりと休息をとる休日を好む回答が目立った。

◇旅行の目的について (n=500) 単位：%

		n %	時間	お金	家族	恋人	友達	その他	特になし
全体		500 100.0	181 36.2	189 37.8	45 9.0	25 5.0	9 1.8	6 1.2	45 9.0
性別	男性	250 100.0	87 34.8	93 37.2	27 10.8	12 4.8	3 1.2	3 1.2	25 10.0
	女性	250 100.0	94 37.6	96 38.4	18 7.2	13 5.2	6 2.4	3 1.2	20 8.0
年代	20代	100 100.0	43 43.0	30 30.0	3 3.0	14 14.0	0 0.0	2 2.0	8 8.0
	30代	100 100.0	33 33.0	43 43.0	15 15.0	2 2.0	4 4.0	0 0.0	3 3.0
	40代	100 100.0	43 43.0	35 35.0	9 9.0	4 4.0	1 1.0	1 1.0	7 7.0
	50代	100 100.0	30 30.0	43 43.0	12 12.0	3 3.0	0 0.0	3 3.0	9 9.0
	60代	100 100.0	32 32.0	38 38.0	6 6.0	2 2.0	4 4.0	0 0.0	18 18.0

【調査概要】

調査エリア : 全国  
 調査対象者 : 20代から60代 男女 有職者  
 回収サンプル数 : 500サンプル  
 調査期間 : 2013年8月27日から8月28日  
 調査実施機関 : 楽天リサーチ株式会社

以上

【お問い合わせ先】

楽天リサーチ株式会社 マーケティング企画部  
 Email : pm-rsch-clama@mail.rakuten.com